



新^{しん} 緑^{みどり} ニュー ス



病院の理念

確かな医療技術
やさしい対応
地域への貢献

さんきかい よこはましんみどりそうごうびょういん
医療法人社団 三喜会 横浜新緑総合病院
〒226-0025 横浜市緑区十日市場町1726-7
TEL. 045-984-2400 (代表) FAX. 045-983-4271
発行 地域医療連携室 TEL.045-984-6216 (直通)



骨盤臓器脱について

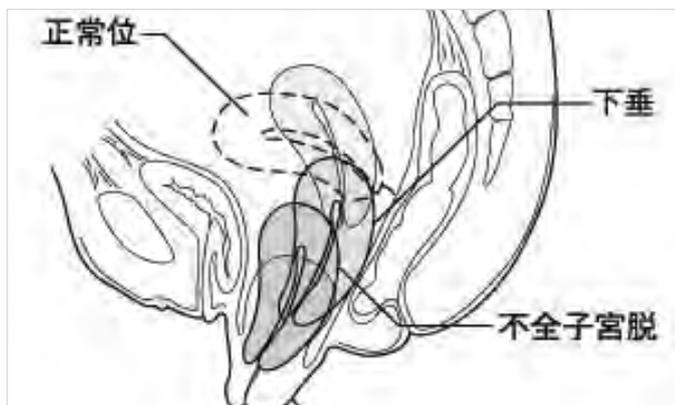
横浜新緑総合病院 婦人科部長 清河 薫

【骨盤臓器脱とは】

立ち仕事をしたりしていると股の間に丸いものが出てくる感覚はありませんか？長く歩いていると下腹部や腰が重くなり疲れやすくなることはありませんか？排尿がすっきりせず、残尿感や頻尿に悩まされていませんか？午前中よりも午後の方が調子が悪くなる傾向はありませんか？

これらは骨盤臓器脱という病気に特徴的な症状であり、骨盤の底にある支持組織が弛緩し脆弱化した結果、骨盤内臓器である膀胱・子宮・腸などが腔内に垂れ下がって来るのが原因です。

分娩回数、肥満、生活習慣、体質などの危険因子が存在し、骨盤底筋体操や体重管理などで症状の軽減が期待できる場合もありますが、多くの場合年齢とともに進行します。



【骨盤臓器脱の治療】

治療には pessary と呼ばれる装具を腔内に挿入する方法と、手術により修復する方法があります。

pessary を長く使用すると装具の圧迫により腔粘膜がただれ出血しやすくなりますので、3か月に1回ぐらいのペースで通院が必要です。また、どうしても挿入時の違和感が強いとか、自然に抜けてしまうために治療を断念せざるを得ない方もいらっしゃいます。

当院では一生にわたる長期間の装具による治療の負担を考慮して手術療法を積極的に勧めています。

【当院の手術方法の特徴】

当院の手術方法の特徴は、人工物を一切使わない自己組織を再建する方法(以下NTR法)を採用している点です。子宮や膣などを維持していた靭帯や筋膜などを再利用し、これらを吸収糸により縫縮し再連結させることで、Delancyらが提唱する3つのレベルで骨盤底を丁寧に再建・補強します。

子宮を有する場合にはそれを摘出することにより支持組織の再建がより効果的に行えます。ちなみに閉経後の女性にとって子宮摘出によるデメリットはほとんどなく、むしろ癌年齢において子宮がんのリスク軽減などのメリットもあります。

【再下垂(再発)について】

再建した組織によりほぼ一生にわたり膀胱や直腸周囲を支持しその脱出を防止しますが、術後の出血や感染、骨粗鬆症・糖尿病・肥満などの体質、生活様式などの影響により残念ながら一部の方で再下垂(再発)します。

軽度の場合は生活上に問題はなく経過観察のみでよいものが多いですが、自覚症状を伴う重度のものは再手術(全体の10%弱程度)を行います。ただし再手術にかかる時間や入院期間は初回手術の半分程度です。

【独自に改良を加えたNTR法】

このように先人たちの長い歴史に裏付けられ、独自に改良を加えたNTR法は、現代においても効果・安全面で優れた方法です。

実際、300例に及ぶ術後経過のなかで諸症状から解放され快適な生活を取り戻したという喜びの声をたくさんいただいており、日々の励みになっております。

【女性の総合診療科】

症状がある方はぜひ、当科のホームページにて詳細をご覧いただいたうえで受診をしていただくと幸いです。

婦人科《女性の総合診療科》

「骨盤臓器脱の症状でお悩みの方は」



QRコード





部門紹介 2021 | 6階SCU病棟

6階SCU病棟科長 板倉 弥代 (写真・中央)

当院は2019年に日本脳卒中学会より『一次脳卒中センター』(PSC:Primarily Stroke Center)として認定されました。一次脳卒中センターは24時間365日、脳卒中患者を受け入れ、速やかに脳卒中専門治療が可能な施設であることが条件です。

脳卒中治療の中核を担うSCU病棟は、6西一般病棟に併設された3床で構成され、症状が変化しやすい脳卒中(脳梗塞・脳出血・くも膜下出血)疾患に対して、症状悪化に気づき防ぐことができるよう、看護師が常駐し治療しております。

当院には常勤脳神経外科医5名が所属しており、SCUには医師の他に、看護師6名、専任リハビリスタッフ1名、脳神経外科担当MSW2名が入院から回復期までSCUチームで治療と看護を提供しております。

脳卒中の患者さまは、年齢問わず突然発症が多く、身体の麻痺、言語障害や高次脳機能障害を抱え今後の生活を送ることがあります。SCUチームは、入院時より患者さまの入院前の生活環境や家屋状況・社会的背景などの確認を行い、疾患を安全に治療するのみならず退院後の生活や社会復帰を見据えて多職種横断的にサポートしてまいります。

多職種で協働し、皆さまに信頼される最良の診療・看護を提供できるよう努力をしております。



※写真撮影時のみ一時的にマスクを外しております



日本脳神経血管内治療学会にて優秀賞を受賞

第19回日本脳神経血管内治療学会関東地方学術集会の『一押し画像コンテストカラー部門』にて優秀賞を受賞しました。

このコンテストでは、すぐに役立つ検査に対する工夫や撮影技術により血管内治療に有用な画像が得られたものを評価します。通常、血管の3D-CT画像は造影剤を使用したデータから作成しますが、入院時に撮影する胸部単純CTの原画像データを有効活用し、3D画像を作成することで血管の形状(大動脈弓部の分岐血管構造)を事前に把握することができ、カテーテル操作に役立つことが評価されました。また、この方法は、造影剤使用量の減少、検査時間の短縮による被ばく低減にも有効と考えます。

今後も患者さまに安心して検査を受けていただくとともに、診断に役立つ質の高い画像が提供できるよう努めていきます。

放射線科主任 診療放射線技師 荒川 優幸



皮膚科往診(訪問診療)のお知らせ

当院皮膚科 松岡百合子副部長による往診(訪問診療)を開始しました。第2・4・5週火曜日午後が訪問診療枠となります。褥瘡(じょくそう)、湿疹や痒み、水虫など皮膚トラブルを抱えていても病院受診が困難な方は、ぜひご相談ください。

<お問合せ> 地域医療連携室 TEL 045-984-6216 (直通)

WEB版みんなの健康講座

※オンライン配信

WEB版みんなの健康講座バックナンバーはホームページ、スマホ(QRコード)からいつでもご視聴いただけます。

第1回 脱腸 ~意外と多い脱腸~

第6回 糖尿病網膜症について

第2回 知ろう!学ぼう!考えよう!乳がん

第7回 病気と思う前に~泌尿器科編②

第3回 骨粗鬆症と腰椎圧迫骨折

第8回 糖尿病腎症について

第4回 糖尿病と運動療法

第9回 膝が痛くて手術を受ける患者さまへ

第5回 病気と思う前に~泌尿器科編①



WEB版
みんなの健康講座